



今回の探検先は… 関西テレビ放送

大阪市北区に本社を構えるテレビ放送局。「カンテレ」の愛称で、子どもから大人まで幅広く親しまれている。2007年に「メディアリテラシー推進活動」をスタートし、2013年にはCSR推進活動の専門部署である「CSR推進部」を新設するなど、放送局の特性を活かした社会貢献を通して、地域とのつながりを深める。コーポレート・スローガンは「超えろ。」

●探検実施日：2017年8月9日(水)



待ちに待った、しごと探検隊



晴天の夏の日に16名の小学生が訪れたのは、関西テレビ放送。「タレントさんに会えるかな?」「このビル、知ってる!」大きなテレビ局の建物を前に、ワクワクを抑えきれない子どもたち。バスから元氣よく降りたら、いよいよ探検のはじまりだ!

テレビ局の舞台裏を感じよう

CSR推進部の石田さんに案内されて、まずは収録スタジオへ。これからはじまるのは、10年目に突入した朝の情報番組「よーいドン!」。本番5分前3分前。カウントダウンとともに出演者が現場入りし、スタジオ内の緊張感が高まっていく。いよいよ本番がはじまると、子どもたちは、息をのみ

声と表情で伝えるアナウンサーの仕事

最後に、アナウンサーの高橋さんが笑顔で登場。「アナウンサーの仕事は、どんなものがあると思いますか?」その問いかけに「ニュース」「ナレーション」「番組の司会」など、子どもたちが次々と答える。



アナウンサーの高橋さんとプロデューサーの脇田さんと一緒に、「よーいドン!」のスタジオで記念撮影

番組を届けるみんなの努力 テレビを支える仕事とは?



ながら生放送を真剣に見つめた。続いて「テレビ局の心臓」である放送部に向かう。番組、CM、ニュース、生中継などのすべての映像を集める回線センターや、1秒のズレもなく正確な映像を届けられるように管理しているマスター室。見学を通して、テレビ局の裏側を知ることができた。

ひとつの番組ができるまで



会議室に戻ると、石田さんから番組に関わる仕事の話を聞く。「お家で毎日テレビを見ている人は?」と聞かれると、元氣よく子どもたちの手が挙がる。番組には、ドラマやアニメなどの「制作」、野球やサッカーなどの「スポーツ」、ニュースなどの「報道」と大きく3つの種類がある。ディレクター、カメラマン、音声、照明、スタイリスト



「いつも意識しているのは、声の大きさ。間のとり方。話すスピードです。他にも、息をスーッと長く出す腹式呼吸をしたり、早口言葉で滑舌よく話せるように練習したり。相手により伝わるように、言葉に感情をのせることを大事にしています。情報を発信する語り手として、声と表情を大切にしていることや、声をきたえるためのトレーニングを実践していることを教わった。



他にも、いろいろな仕事があり、ひとつの番組をつくるためには、100人以上のスタッフが関わっていることを教わる。子どもたちは、見学したスタジオやマスター室を思い出しながら、熱心にメモをとっていた。

たくさんプロをまとめる



次話してくれたのは、番組プロデューサーの脇田さんだ。「私の仕事は、自分の頭の中にあるアイデアを、それぞれの道のプロの力を借りて形にすることです。サッカーで例えると、タレントが選手、ディレクターが監督(コーチ)、プロデューサーがオーナーの役割を果たしています」と説明。番組の企画から打ち合わせ、セットや台本づくり、収録、編集作業まで、完成への

今日のまとめをみんなで発表



探検後はアイテムに戻って、グループごとに学んだことを発表し、「出演者以外にも裏側で働いている人がたくさんいて驚いた」「スタジオのセットにもこだわりが詰まっています」と1日を通して、さまざまな発見と学びに出会った子どもたち。テレビには映っていない、スタッフの仕事や想いを肌で感じることでできたようだ。



感想コーナー

- テレビにはあまり知られていない重要な仕事があるということを知りました。
- テレビには、裏で支えてくれている人がいると知れて、びっくりしました!「よーいドン!」の生放送が見れてよかったです。
- アナウンサーやプロデューサーの人にいろいろな話が聞けて、一生忘れないくらいいい思い出になりました。

関西テレビ・CSR推進部 専任部長 石田善久さん



「よーいドン!」のスタジオ見学や番組プロデューサー、アナウンサーの話を通じて、皆さんがご覧になっているテレビの裏側が少し見えましたでしょうか。画面に映っていないところでも、数多くのスタッフが皆さんに楽しんでもらえるいい番組をつくるために力を合わせて頑張っています。今回の体験をきっかけにもっとテレビに興味をもってもらい、見てもらえたらうれしいです。関西テレビでのしごと探検隊にご参加いただきありがとうございました!

●「アイテムしごと探検隊」ご協力をお願い
訪問先としてご協力いただける企業・団体を募集しています。子どもたちが「仕事」について考える機会を一緒に提供していただけませんか?
お問い合わせはアイテムまで ☎0120-938-989